【答辞】

　広瀬川の川面を渡る風が木々に春の芽吹きを呼ぶこの佳き日，私達のためにこのような卒業式を挙行して下さり，誠にありがとうございます。

　思い起こせば三年前の春，新しい校舎に迎えられ，私達は尚絅学院に入学しました。小学校を卒業したばかりの当時はこれからの中学校生活への期待と緊張が入り混じり，複雑な心境だったのを覚えています。入学して約一ヶ月後に行われたサイエンスキャンプでは，自然に触れながらクラスメイトと過ごした三日間でとても印象に残っている行事の一つです。自分たちが納得するまで話し合い，最終日に行われる発表に向けて自分たちができる最大限のことをしました。サイエンスキャンプを通してクラスメイトの新たな一面を発見できたり，その時まであまり話していなかった人と話すようになり，交友の輪が広がっていきました。一年生の時は，楽しいことがたくさんあった反面，クラス内での衝突もあり，たくさん悩んだように感じます。まだ稚拙な考えから互いの意見がぶつかってしまい，辛い思いをした人もいました。その度に話し合いや面談をして互いの意見を受け入れられるようになり，成長していきました。

　後輩が入学し，部活動や生徒会活動でも中心になる場面が増えた二年生の時にはイングリッシュキャンプがありました。このイングリッシュキャンプでクラスの仲の良さを感じることができたとともに，長い時間一緒に過ごしたことでより良いクラスになったと思います。スピーチを発表するという一つの目標に全員が向かっていきました。誰かが困っていたら手を貸して皆で一緒にゴールすることができて，クラスの皆が優しくて心が温かい人ばかりなのだと感じることができました。私はイングリッシュキャンプが三年間の中で一番の思い出です。この行事に参加して，英語への感心を深めることができて，さらにクラスの仲間と忘れることのできない思い出を作ることができて，とても印象に残っています。

　各々の部活動で入学以来の積み重ねが形になってきたのもこの頃です。賛美礼拝で歌声を響かせるために努力を惜しまなかった姿，大会でユニフォームを着て一試合，一試合全力だった姿，尚絅祭でお客さんを楽しませるために準備から後片付けまで丁寧に作業していた姿は普段教室で見る姿とはまた違い，とても輝いて見えました。

　最終学年となり，最後の一年を最高な時間にしようと私達の誰もが思っていました。その時，世界中を襲った試練に私達も向き合わなければいけませんでした。クラスの皆に会えない時間が続き，私はクラスの仲間が自分にとってかけがえのない存在だと気づきました。あの時間の中で私は何度もみんなに会いたいと思っていました。六月から学校が再開しましたが，以前までは当たり前のようにしていたことが制限され，新しい生活様式での再スタートでした。しかし，その中でも，最高な一年にしようと残り少ない時間を少しでも記憶に残るものにしたい，という思いが私達の中で強まっていきました。

　また，今年は受験生ということもあり，勉強に対する意識がいっそう高まった時期もあります。進路達成のために，今，自分は何をしなければいけないのかと考えることが多くなり，悩むこともたくさんありました。しかし，悩んだ時は，友人，先生，家族が必ず相談に乗ってくれました。そのようなサポートがあったおかげで，一つずつ自分ができることに全力を尽くしました。皆頑張っているから自分も頑張ろうという気持ちになってクラス一丸となって受験に挑みました。

　この三年間を通して私達は大きく成長しました。たくさん泣いて，たくさん悩んだけれど，二年生の時の陸上記録会でチームワーク賞を取ったことや三年生でのクラス司会礼拝で歌声を響かせるためにたくさん練習して賛美という形で今までの感謝を伝えられたこと，全てが忘れられない思い出です。休み時間になれば、誰かが笑顔になると自然とクラスが笑い声であふれる、そんな仲間と過ごした三年間はかけがえのない宝物です。

在校生とは，部活や行事でしか多く接する場面がありませんでしたが，先月の卒業を祝う会では思いのこもったプレゼントやダンスを披露してもらい，とても嬉しかったです。これから尚絅中を引っ張っていく存在として活躍することを期待しています。

　三年間一緒にいてくれた3Aにメッセージを贈ります。みんな，あっという間の三年間だったけれど，たくさんの思い出を作ることができて楽しかったよ。普段の何気ない会話でも心から楽しいと思うことができて，行事では学年問わず仲良くしていた姿，尚絅中の先頭に立っていた姿が私は大好きだったよ。3Aの皆に出会うことができて本当に良かった。これからはバラバラになってしまうけれど，みんなと過ごした三年間を忘れずに高校生活を頑張っていこうね。本当にありがとう。

　授業で，私達がわかるまで教えていただき，悩みがあった時には親身になって相談に乗って下さった先生方には感謝しきれないほど感謝の気持ちでいっぱいです。特に，一，二年生の時は対人関係や進路で悩むことが多く，その度に話を聞いていただき，安心して学校生活を送ることができました。行事の時には私達と一緒に盛り上がり，いつも私達のことを気遣ってくださったことは私達にとって良い思い出です。また，受験前には中学校の先生方をはじめ，高校の先生方からもたくさんのエールをいただき，私達の励みになりました。

　そして，三年間，朝早く起きてお弁当を作ってくれたり，進路達成のためにいつも私達のことを応援してくれていた家族。家族の支えがなければ，今，こうしてこの場に立っていられなかったかもしれません。悩みがある時は，そっと寄り添ってくれたこと，アドバイスをしてくれて，さらなるステップアップができるように導いてくれてとても感謝しています。時には，受験のストレスなどで辛く当たってしまったこともあります。しかし，そんな時でも見捨てずに私達を信じてここまで一緒に歩んできてくれたことに感謝しています。いつも一緒にいてくれてありがとう。そして，これからも今までの謝を忘れずに，努力を惜しまず頑張っていきます。

　私達はそれぞれの道に進んでいきますが，この唯一無二のすばらしい友達に出会えたこと，苦しい試練を乗り越えて今日このようにして卒業を迎えられたことに感謝して新しい世界へ羽ばたいていきます。

　最後になりますが，尚絅学院中学校のますますのご発展をお祈りし，答辞といたします。

2021年3月15日　卒業生代表　SSさん